臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

クエゼリン島 ルオット島 我守備隊全員
四千五百名戰死
嗚呼壯烈最後の突撃

【東京發至急報】**大本營發表**（昭和十九年二月二十五日十六時）クエゼリン島並にルオット島を守備せし約四千五百名の帝國陸海軍部隊は一月三十日以降來襲せる敵大機動部隊と熾烈なる砲爆擊下之と激戰を交へ、二月一日敵約二箇師團の上陸を見るや之を邀擊し勇戰奮鬪敵に多大の損害を與へた後、二月六日最後の突擊を敢行、全員壯烈なる戰死を遂げたり

軍屬二千名も玉碎
指揮官は山田、秋山兩海軍少將

ルオット島守備部隊指揮官は海軍少將山田道行にしてクエゼリン島守備部隊指揮官は海軍少將秋山門造なり

右兩島に於て軍屬約二千名も亦守備部隊に協力奮戰し、全員其の運命を共にせり

壯烈・音羽侯御戰死
クエゼリン島に御奮戰

御寫眞は在りし日の音羽正彦侯

【東京發】海軍省公表（昭和十九年二月二十五日十六時）

一、海軍大尉侯爵音羽正彦は二月六日クエゼリン島の激戰において壯烈なる戰死を遂げたり

二、二月六日附左の通り追敍せしめられたり

海軍大尉侯爵　音羽正彦
任海軍少佐

海軍省副官談

【東京電】音羽正彦侯爵戰死に關する海軍省副官談、音羽侯はマーシャル諸島方面部隊參謀として活躍してをられましたが、一月三十日以來進攻し來れる有力なる敵機動部隊を邀擊し大いに奮戰、二月六日のクエゼリン島の激戰において自ら陣頭に立ち最後の突擊を敢行され遂に壯烈なる戰死を遂げられました

音羽少佐略歷

朝香大將宮第二王子

侯爵邸への御弔問

敍賜の御沙汰

敵陣上空で荒鷲緊張の胸は高鳴る

寸土も敵に讓るな

蹶然起つて猛反擊
一億玉碎の英魂に續け

一萬四千噸の鐵量
敵マ諸島上陸迄に投下

共匪討伐隊に賞詞

兩指揮官略歷

山田道行少將

秋山門造少將

海相談

重大戰局に關する嶋田海相談

黃滿國大臣一行入京

敵は專ら回避作戰
―支那派遣軍週間戰況―

國民總動員體制を强化
決戰非常措置要綱決定

情報局發表
決戰非常措置要綱

一、學徒動員體制の徹底

二、國民勤勞體制の刷新

三、防空體制の强化

四、簡素生活の徹底

五、空地利用の徹底

七、高級享樂の停止

八、重點輸送の强化

九、海運力の刷新强化

十一、中央監督事務の地方委任

十二、裁判檢察の迅速化

十三、保有物資の積極的活用

十四、信賞必罰の徹底と查察の强化

總理の決意に應ふ

急務・職階性の確立
東商會頭　藤山愛一郎氏談

陸鷲吉安を奇襲

通信機
電波機器
東京芝浦電氣株式會社
通信工業支社

國府地方禁烟組織令等可決

保甲事務整備打合
全島保安課長會議開く

祭祀公業の法制化
法務部で研究を進める

府定例地方長官打合會

定例閣議

米、例の小出し發表

人事

けふの官報

社説

來るべき獨軍春季の動き

過般、東西の二大陸戦線につき [illegible]

[illegible]

勤勞協力會（假稱）設置

けふ國動關係者打合會

府國民動員課では [illegible]

[illegible]

遊興飲食税解説

大衆食堂では納税切符

本日より施行される四間税法の改正 [illegible]

一、藝妓の花代　百圓に付税金三百圓

二、酌婦、娼妓の花代、玉代、揚代等　百圓に付税金百二十圓

三、藝妓、酌婦、娼妓等を侍らして爲す飲食料金等　百圓に付税金百圓

四、カフエー、バー等の遊興飲食料金　百圓に付税金百二十圓

五、花代等は伴はない飲食料金（カフエー、バーを除く）及仕出料理の料金

（イ）一人一回三圓以上三圓未滿　一圓に付税金三十錢

（ロ）一人一回三圓以上五圓未滿　一圓に付税金五十錢

（ハ）一人一回五圓以上　一圓に付税金八十錢

六、旅館の宿泊料

（イ）一人一宿五圓以上七圓未滿　一圓に付税金二十錢

（ロ）一人一宿七圓以上十圓未滿　一圓に付税金四十錢

（ハ）一人一宿十圓以上　一圓に付税金六十錢

七、通常一人前五圓未滿の飲食物のみを提供する場所であつて知事の指定する業者は料金税の代りに納税切符を使用する場合

（イ）一人一回二圓以上二圓五十錢未滿　税金六十錢

（ロ）一人一回二圓五十錢以上三圓未滿　税金七十錢

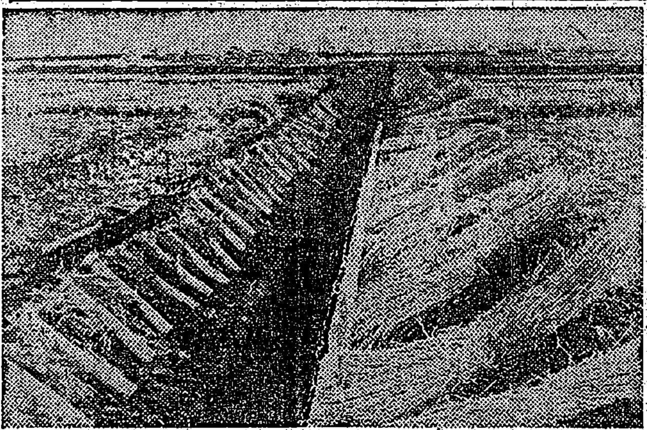
[illegible]

爲替差損の消却

增田臺電社長概況報告

二十五日開催の臺灣電力株主總會に於ける增田社長の述べた概況報告は次の通りである

[illegible]



戰爭と基礎科學

京大教授　理博　駒井卓

科學技術戰爭

[illegible]

基礎科學

[illegible]

敵に引けを取るな

基礎科學の興隆未だし

科學と文化

[illegible]

英語は敵を倒す武器

[illegible]

出版統制の方向

[illegible]

嫁も來ぬ濕田の村

暗渠排水大工事に凱歌

内地農村報告

【神奈川縣茅ケ崎にて高橋特派員發】 [illegible]

三倍增產へ

[illegible]

以來

[illegible]

埋めた土管十四萬本

[illegible]

「まあ見て下さい、こちらは暗渠をやり、あちらはまだやつてないんですが、見た眼であれだけ違ふんですからネ」

[illegible]

◇―◇

しか

[illegible]

それ

[illegible]

日本キリスト教臺灣教團創設

二十八日臺南で重要協議

[illegible]

臺中厚生信用組合臨時總代會

[illegible]

貯蓄券は效果的

村井勸銀理事當面の問題語る

[illegible]

貯蓄

[illegible]

一日三十石が無駄になる

[illegible]

（米を尊ぶ男）

行列買の絶滅

日増に熾烈苛烈をきはめつゝある戰時下に於て一部不逞業者の自己滿足の爲め菓子店其他の行列買は寔々たる男子及主婦達が出動し居るは誠に遺憾しき限りなり戰時下の貴重なる時間を斯る不生產的なる方面に浪費するよりも他に有益なる利用方法を考慮すべきなり殊に菓子の購買者の中には徴用者にあらずして此に閑暇を以て業務を逐とする悪辣なるものもあり取締當局には時下何多用の事とはお察し致しますが特に此點に御留意の上菓子店の賣出時刻に一部の闇連合を嚴び取締らるるならば自然に絶滅を見ると思はるるのであります、一方販賣店の方も時局認識の意思で且つ近所の迷惑と云ふ點も考慮せられて行列買を是正せられんことを希望する次第なり（一市民）

弘報委員會延期

【新竹電話】既報新竹州支部主催第一回弘報委員會は都合により二十六日を二十七日に延期開催することとなつた

淡水郡新類出荷組合の創立總會を二十三日午後二時より郡會議室に於て州三浦技手、齋藤郡守以下關係官民多數列席の下に開催し郡守訓示、創立經過報告、規約審議、收支豫算何れも原案通り可決し氏家組合長の挨拶、三浦技手訓示あつて四時散會した

市況（廿五日）

兜町前場況

【東京發】總々當限納會を明日に控へて當限中心の小口整理商内結局つて概ね軟調を示した [illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京長期總取組

[illegible]

東京國債實物前場

[illegible]

下痢に
即效を誇るワカ末は
胃腸ときつてもきれない仲となりました
全國有名藥店にあり
強力殺菌整腸
ワカ末

空襲下の子供問題
あなたの隣組ではどんな對策を講じてゐますか
どの隣組でも空襲の場合防火に重點を置きますが、子供の待避や救護と併せて、子供の保護對策もおろそかには出來ません。あなたの隣組で、未だ方法を講じてゐないのなら、速急に何とか研究をいたしませう。
ビタミンAD劑　肝油理研ビタミン丸
販賣元　株式會社玉置商店

臺灣總督府官報
月極購讀　一箇月　四拾五錢
外に月別保存用官報一册　金九十錢

詳しい説明書進呈
高血壓
中風は
頭痛・のぼせ・めまひ
舌もつれ・耳鳴・不眠
肩こり・半身不隨
がこ所急
特殊脳ホルモン主配　急所回生藥
ギヤクラミン
東京都　理化學研究所

貴命製藥の
かぜねつ
頭痛に
ネッサル
貴命製藥株式會社

電氣も
戰闘
配置に
トウランプ
良質電球で
一ワットでも
夜業增産へ

忠魂に應へる途は一つ
前線へ送れ飛行機
クエゼリン、ルオットの勇士を偲ぶ

【東京發】故山田[illegible]報道班員[illegible]が本年一月下旬まで三ケ月間將兵と起居を共にした故クエゼリン、勇士等が「內地へ行つたら皆さんによろしく頑張るやうに傳へて下さい」と飛び立つ機を追つて手を振つたルオット、この島で大敵を迎へて血戰八日、あの南海の環礁中の眞白なリーフを紅々と染めたのは指揮官山田少將、秋山少將始め一人殘らず私の知つてゐる懷しい男子等の祖國の血潮だ、激しい作戰の合間合間にも祖國を懷したこれ等勇士達は決戰生活に慣れたたらうか、飛行機はどしどし送られてゐるだらうかと決戰の明け暮れに飛びは祖國へと飛ぶのだつた、航空勢力の足りない無念さ、しかもクエゼリンにしろルオットにしろ椰子も少いリーフ島だ、激しい爆彈を避けるに十分な穴もなく身を隱す木陰もなかつた、「われ〳〵は最後の一兵まで守つてこの基地を護ります」遙か北西の方宮城を拜して遙拜し決意の程を披瀝してゐた將兵、今その六千餘の英魂は永久に環礁に止まつて滅敵の意氣に燃えてゐるのだ

航空機の不足を歎ぜられた音羽少佐

音羽少佐に最初に御目にかかつたのは昨年十一月少佐がウエーキ島守備部隊の[illegible]に[illegible]の前夜であつた、中部太平洋の最前線のウエーキ島守備隊へ自ら進んで御志願になつた程を拜して將兵[illegible]しく感激、分けてもウエーキ島守備隊は全員一丸[illegible]に張り切つた、十月六、七日の敵襲直後の事だつたが少佐は宿舍早々指揮官を始めて[illegible]直ちに部[illegible]兩殿を[illegible]され、その後クエゼリンに御察遠はされた、白皙長身がつしりと[illegible]された御顏がこの上なく頼母しく、口を開かれれば朗々として面隊を遊ばし

「君の居るうちに島の料理を食べさせたいとウエーキ島で話してゐたよ、前線の被害が、あんなものはとうくに[illegible]に復したさ」

御自身の御功績は露程も御洩らしがない

「クエゼリン御勤務も大變ですね、近頃は毎日B24、25の敵機が參りますよ」

[illegible]音羽少佐の御奮戰を[illegible]と同時に今後の[illegible]を偲んで申上げたのは一月初旬のことだつた

「飛行機の足りないといふことは明かに殘念なものだナ、ウエーキ島でも常にせめて○○機でも[illegible]たらとしみ〴〵思つたよ」

少佐もまた前線航空兵力の不足を歎ぜられたこと一度ではなかつた、ガ二回の[illegible]の御來に、その時の椰子の若木とクロトンを[illegible]に頂かれては忙しい御軍務の寸暇を[illegible]んで[illegible]に貼つてゐられた御姿が今記者の眼に彷彿と浮ぶのである

將旗の下嚴然たり秋山少將

昨年十二月五日と本年一月五日朝は小型機と大型機でクエゼリン、ルオットを同時に叩いた、敵機、地上砲火が[illegible]して十一月五日は[illegible]數機を[illegible]した[illegible]に攻擊隊が「よしツ、敵[illegible]」と[illegible]を抱いてその夜の中に[illegible]部隊を基地北東部に[illegible]、[illegible]又は[illegible]を[illegible]つた、あのマーシャル[illegible]ではB25が初めてお目見[illegible]して來た、タラワ、マキンを基地にした敵が連日連夜マーシャルの我が島を空襲する、その[illegible]が[illegible]猛烈さを加へてゐた際だつたので記者などは內心ビク〳〵ものだつたがクエゼリンでは[illegible]の下秋山門造少將が[illegible]の一角を睨んである、ルオットでは山田道行少將がこれも[illegible]部の二階の[illegible]を行き來されつゝ少い兵力で如何にして敵の來襲を[illegible]めるか、と[illegible]を[illegible]りながら[illegible]に心を配つてゐる[illegible]の○○指揮官などは下痢を押して指揮所に頑張り[illegible]宿舍のベットに[illegible]らないといふ[illegible]振りだが

なあに[illegible]したら[illegible]れたら[illegible]までです、人間死ぬと[illegible]は一度、[illegible]はといくに出來てゐますよ、だが[illegible]くは[illegible]の[illegible]

でなく[illegible]な敵と[illegible]へて[illegible]てたいね

[illegible]の[illegible]兵、[illegible]、地上部隊の勇士達は平氣なものだつた

大戰果に莞爾たり山田少將

第一次ギルバート沖航空戰が終了した昨年十一月二十一日、同方面所在攻擊隊[illegible]部隊の多くは敵艦隊に突込んで[illegible]つた、全力を擧げてタラワ、マキンの敵を空から[illegible]したためである、飛べる飛行機・攻擊機が僅○○機、然も敵の[illegible]部隊は[illegible]を増して後から後から[illegible]、その時「飛行機を送れ」[illegible]せられた急電を[illegible]けつけたのは航空部隊の[illegible]で「萬歲萬歲」と[illegible]あつた、嬉しかつた、記者などは基地の[illegible]に立つて[illegible]と[illegible]から叫んだものだ、各隊指揮官は[illegible]から降りて一應の[illegible]を聞きとるや「よしツ、直ちに[illegible]ツ」[illegible]もその[illegible]の基地を[illegible]して行つた、その夜タラワ沖で敵空母二隻、次の晩は空母二、[illegible]又は[illegible]撃沈[illegible]は空母二、[illegible]二隻撃沈のこれまた大戰果であつた、「よかつたよ」おつとり刀で[illegible]けつけて何も戰果がなかつたら申譯ない話だから[illegible]、各隊の指揮官達は後で交々述懷した、指揮官山田道行少將を[illegible]とともに[illegible]下[illegible]の勇姿に莞爾として満足げであつた

作戰が一段落するとデング[illegible]り易い、十分用心して今後の[illegible]に備へよ、此處は每年十一月から三月まで[illegible]期で雨水が少いから[illegible]水に手が出るがそれではいかん、[illegible]第一の[illegible]

はやる勇士達を引締める山田少將であつた、それら勇士の思ひ出は盡きない

の方針も「正しい道に進め、正しい[illegible]な人間にならなければならない」と[illegible]に力強い[illegible]みを示してゐた、又[illegible]について深い[illegible]を[illegible]してゐたので[illegible]の指揮官ともなれば[illegible]の心得くらいがなくてはいけないと一生[illegible]命に[illegible]の[illegible]を行つてゐたので[illegible]には[illegible]の自信をもつてゐた[illegible]に[illegible]つた、[illegible]と云へば[illegible]

[illegible]が好きで[illegible]があれば[illegible]に手入れをしてゐた[illegible]、秋山少將の細心[illegible]、[illegible]で大人と云つた風貌に比べると山田少將は小柄ながら[illegible]な[illegible]で年に似合はぬ若々しい明朗な[illegible]の太い性格の持主であつた、自己の[illegible]によつて生死を[illegible]超[illegible]に[illegible]した秋山少將は悠久の大義に生きて從容として[illegible]つていつたと思はれるが山田少將は

[illegible]中反攻に[illegible]しながら[illegible]力を[illegible]上げて[illegible]つて[illegible]りまくらなければ死ねぬと云ふ[illegible]に満ち溢れてゐる[illegible]な人であつたが然し全生涯を大空に捧げ現地指揮官として[illegible]したことはさぞ本望であつたらう、同期生として[illegible]一念に生きた秋山少將を失ひ[illegible]空一筋に生きたい山田少將を失つたことは惜みても[illegible]余りあるものがある

敢爲勇武の御氣性
音羽侯爵の御奮戰を偲ぶ

【東京發】音羽侯爵の御戰死につき海軍兵學校第六十二期級友[illegible]は同侯の生前を偲び左の如く語つた

この度音羽正彥侯爵が中部太平洋決戰のクエゼリン環礁で御戰死の報に接し[illegible]に同期生たる伏見博英伯爵の御戰死の報も思ひ合せ御二方を級友に戴く私共第六十二期の同期生一同の心は眞に悲愴[illegible]の極みで申上げる言葉もありません、侯爵には昭和六年兵學校に御入校以來、朝香宮正彥王殿下として又臣籍降下後は音羽侯爵として同期生たるの光榮を添けなくいたしました、侯爵は百米競走の選手ラグビーの主將、野球の投手として更に柔道初段の御腕前であられました、[illegible]に[illegible]え[illegible]は[illegible]動神經の魂の[illegible]に萬能であられた、生徒時代の印象は殊も深いものがあります

[illegible]話として第四學年生徒の時殿下に分隊の[illegible]技を[illegible]して頂いた事があります、分隊對抗競技は各分隊が猛烈な練習を致しますが、殿下は私共の分隊選手に[illegible]られましたところが競技の始まる二、三日前から競技係で[illegible]百米、四百米[illegible]走の選手であらせられる殿下が[illegible]物のためにを[illegible]引かれ出場不能かと危ぶまれましたため私共分隊員はこれでは勝目がないと全く諦めてをりましたが、責任感の强い殿下には軍醫官が出場を御止めしたにも拘らず苦痛を忍んで敢然として出場されたのです、この率先垂範振りと悲壯な御決心に振り分隊の士氣大いに昂り今までどん尻ばかり走つてゐた分隊は、殿下の見事なスタート、そして[illegible]命な力走に振り[illegible]然第一組を占め遂に優勝分隊となつたのであります

その[illegible]なる責任觀念と私共の感激は足首に[illegible]を卷かれ[illegible]の[illegible]生に立たれた凛然たる御姿と共に今なほ眼底に彷彿としてをります

又ラグビーは床の外御堪能で[illegible]の脚力を十分發揮され英語教師ブロック等が相手方に廻つて追走これ力めましたが遂に殿下の脚力には及ばずその見事なトライ振りを[illegible]させた程であります、この[illegible]な敢爲勇武の御氣性の一面こそ[illegible]

明治天皇の御血統を[illegible]がせ給うた御方に相應しいものと[illegible]した[illegible]のであります、又知識の[illegible]には[illegible]めて[illegible]、[illegible]な知識の持主であらせられ時局と世界[illegible]の[illegible]等につき[illegible]々御[illegible]に[illegible]りました

少尉任官後長く艦上勤務に就かれましたが支那事變には昭和十三年[illegible]支那派遣として中支戰線に出動、揚子江遡江部隊に參加、廬山攻略に從軍されクリークの水を呑んで渴を癒されたことも屢々で、その時には

「陣中見舞のウイスキーを呑んで我慢したよ」

[illegible]と言はれた話は[illegible]時世人の[illegible]がある[illegible]と思ひます、[illegible]で[illegible]へられた不屈不撓の精神と鋼の[illegible]な[illegible]とは[illegible]私共の及ぶ[illegible]ではなく、[illegible]の[illegible]と共に永く武人の[illegible]であります、侯爵は[illegible]上勤務中主として砲術[illegible]の勤務に就かれた、その間、砲術に熱心で少尉、中尉の頃、[illegible]の[illegible]り砲術[illegible]の兵器改作を上司に[illegible]されて優秀な成績を擧げられ又五十鈴乘組[illegible]時、[illegible]長が山口多聞中將でありましたが侯爵には山口[illegible]長の[illegible]を[illegible]は[illegible]日夜その[illegible]なる[illegible]に接して[illegible]人格を[illegible]されたと承つてをります、[illegible]第一線から[illegible]砲術學校に入校[illegible]を[illegible]されましたが[illegible]に[illegible]に[illegible]して砲術[illegible]の技術[illegible]太平洋の[illegible]心に[illegible]の技術を以て[illegible]、[illegible]を[illegible]すべく赴任された、その後[illegible]らずして[illegible]の[illegible]を[illegible]へ[illegible]る武勇を[illegible]示しになつて[illegible]に大[illegible]を與へ遂に護國の神と化せられました、[illegible]も[illegible]私共に[illegible]へて

“航空機を送れ、航空機を送れ”

と[illegible]し[illegible]なる敵の[illegible]下に[illegible]部の[illegible]の中に[illegible]り込んで行かれた[illegible]を[illegible]る[illegible]が致します、私共は[illegible]に[illegible]して迫り來る[illegible]の[illegible]を[illegible]共に太平洋に[illegible]つて[illegible]ずこの仇を[illegible]しその[illegible]に[illegible]くべく[illegible]を[illegible]めてをる次第であります

闘志の人・山田少將
謹直な武人・秋山少將

有賀少將が語る 玉碎提督の面影

【東京發】南溟の[illegible]に[illegible]子等と敵つたルオット島守備部隊指揮官山田道行少將、クエゼリン島守備部隊指揮官秋山門造海軍少將と兵學校時代の同期生である有賀武夫海軍少將は兩提督の[illegible]烈な[illegible]の面影を偲びながら次の如く語つた

山田、秋山兩少將が[illegible]死を遂げたことは[illegible]に[illegible]である

山田少將 は[illegible]士の血を受け[illegible]いた佐賀[illegible]の出身で兵學校時代の[illegible]では[illegible]は小柄であつたが[illegible]の太い[illegible]の[illegible]つた男で負けじ魂の[illegible]へは[illegible]く小[illegible]な[illegible]はれてゐた、山田少將は兵學校を卒業すると直ちに[illegible]時代の飛行家の[illegible]から[illegible]飛行機を志願して航空今日に至るまで只一筋に航空[illegible]の[illegible]のために[illegible]的な努力を[illegible]けて來た、[illegible]に[illegible]する[illegible]の[illegible]官、司令[illegible]を[illegible]め航空本部の[illegible]等を[illegible]任し[illegible]搭乘員の[illegible]成指導並に航空[illegible]の改善[illegible]に[illegible]を[illegible]けてゐる、[illegible]の技術も卓越な腕前をもつてゐたが[illegible]のことについても特に優れた[illegible]を示し、これが[illegible]にも[illegible]の深い[illegible]を[illegible]

[illegible]から、と云つた[illegible]であつた、[illegible]も[illegible]く[illegible]の時[illegible]り[illegible]には[illegible]の[illegible]もびつくりした[illegible]であつた、[illegible]にボート、水泳[illegible]んでもござれと云つた[illegible]でも[illegible]の[illegible]であつた、[illegible]明朗[illegible]でいつもにこ〳〵と[illegible]た[illegible]つきで[illegible]等に[illegible]んで[illegible]人を[illegible]せてゐた、[illegible]つて[illegible]味も[illegible]多[illegible]で[illegible]、[illegible]もやるし酒も[illegible]な方ではなかつた、又[illegible]の[illegible]すぎで[illegible]の[illegible]田少將が[illegible]した時など[illegible]にて[illegible]も[illegible]ばぬ[illegible]族の面倒を見てゐた[illegible]下を[illegible]がることも[illegible]で若い[illegible]

秋山少將 は香川縣の人で[illegible]面目一[illegible]の[illegible]な武人であつた[illegible]で[illegible]と云へば秋山と云ふ代名詞に[illegible]へられる[illegible]自分の[illegible]のもつてゐた、今日の[illegible]部隊の[illegible]が世界を[illegible]せしみる[illegible]な[illegible]力を[illegible]つて來た[illegible]には同少將に[illegible]ふところが多い[illegible]に思ふ

[illegible]でも只「[illegible]面目な人」と云ふことが[illegible]く[illegible]み込まれてゐる、自分とは家族[illegible]とが近所つき合ひをしてゐたのでよく知つてゐるが家庭は非常に圓滿で非常に子煩惱の好々爺であつた、秋山一家は日[illegible]宗の[illegible]信徒で[illegible]日等には多くの人が[illegible]つて[illegible]してゐたが却々の熱心な[illegible]仰家で宗教の[illegible]の[illegible]い人であつた、秋山少將は[illegible]科の出身で[illegible]

空の陣列へ
“臺灣青年號”
全島に昂る獻金熱

[illegible]年の盛り上る力によつて一機でも[illegible]線へ多くの飛行機を送りたいと[illegible]少年隊にては全[illegible]少年隊に呼びかけ飛行機[illegible]各[illegible]年隊の[illegible]金を[illegible]中であるが各[illegible]年隊はそれ〴〵自己の勤勞又は共同勤勞による金を供出してゐるが就中[illegible]北州[illegible]部下の各[illegible]年隊に於ては[illegible]位[illegible]二千[illegible]にて[illegible]に九千四百圓に達してゐる、[illegible]年隊では一萬二千四百圓を目標に努力中で[illegible]の[illegible]者を[illegible]せしめてゐる

今日も零下○○度の極寒を克服、任務に就く勇士あり、かくて北方の護り堅たり

―寫眞は凍りつく基地より偵察任務に飛立つ[illegible]＝[illegible]報道班員撮影（[illegible]省許可濟第十六號）

皇國租稅理念を徹底
期待さる稅制調查會の設置

決戰議會の焦點

[illegible]昭和十[illegible]年度[illegible]二十二億七千[illegible]百萬圓[illegible]年度[illegible]二十三億七千六百[illegible]萬圓に上る直接稅[illegible]國民稅を通ずる[illegible]期的增稅案は、[illegible]通り成立を見たが、今議會に於ける[illegible]案の[illegible]に從つて、今後[illegible]とらんとする[illegible]の[illegible]稅制[illegible]が[illegible]されたのと、[illegible]の念に[illegible]る決戰下一億國民の[illegible]な[illegible]が[illegible]く[illegible]されたことは大きな收穫であつた

稅務機構の整備 [illegible]の大巾引上げに[illegible]ひ、稅の[illegible]負擔公平と[illegible]稅の[illegible]を期する上において[illegible]の[illegible]は[illegible]ものがあり、[illegible]においてもこの問題は[illegible]く[illegible]され[illegible]、[illegible]稅務[illegible]の手不足から所得調査が十分ゆきわたらないため時局によつて所得の增加した方面に對しては[illegible]が行はれてゐる反面不[illegible]の[illegible]をうけてゐるものがあるのが現在であるが、大藏當局としては今次の[illegible]に[illegible]ひ稅務[illegible]の[illegible]を[illegible]として次の如き[illegible]を考慮してゐる

一、先づ稅務員を一千名增員するとともにその[illegible]を[illegible]じ永く[illegible]に留まり得るやう[illegible]を[illegible]ずる

一、[illegible]について[illegible]專門の[illegible]員を[illegible]け、[illegible]調査を[illegible]に行ひ[illegible]の[illegible]を[illegible]する

一、大都市の稅務署を分離しその[illegible]を[illegible]る

一、稅務相談所を[illegible]する

一、[illegible]に[illegible]補助[illegible]を設けその[illegible]を[illegible]するとともに[illegible]の[illegible]を行ふ

皇國租稅理念の昂揚 をめぐつて[illegible]目されたのは[illegible]行政の[illegible]と[illegible]して[illegible]皇國租稅理念の昂揚に[illegible]る[illegible]であつた、從來租稅は自由主義的考へ方から取るもの取られるものといつた見方が行はれ、納稅者と[illegible]との間に[illegible]を起しがちであり、したがつて[illegible]も十分とはゆかなかつた、この際を[illegible]つて[illegible]、[illegible]が[illegible]一體となつて[illegible]して納稅し得るために[illegible]らしい皇國租稅理念が[illegible]自問から[illegible]された、皇國租稅理念とは皇國本來の[illegible]たる[illegible]に[illegible]するといふ[illegible]の[illegible]に基いて[illegible]が分に[illegible]して[illegible]を[illegible]せんとするものである、[illegible]この理念は[illegible]に於て[illegible]に[illegible]しても[illegible]者をして[illegible]の[illegible]くやうな[illegible]を[illegible]してゐるのであるが、これに[illegible]しては大藏當局は[illegible]の[illegible]向上にさらに努力する[illegible]向を[illegible]した、皇國租稅理念の[illegible]は[illegible]に[illegible]することが[illegible]されるが、この理念を[illegible]的に研究[illegible]するため、近く大藏省內に[illegible]者その他各方面の[illegible]を[illegible]する[illegible]委員會を[illegible]することになつてゐる

稅制と貯蓄政策の調整 從來[illegible]の見地から國民[illegible]に[illegible]しては所得稅の[illegible]を行つて來てゐるが、今[illegible]の增稅に[illegible]つても國民[illegible]組合の[illegible]に[illegible]しては非課稅[illegible]を七千圓より一萬圓に引上げたこれは一方において從來[illegible]となつてゐた五千圓以下の[illegible]預金に[illegible]の五の[illegible]が行はれることになつてゐたことと[illegible]すれば[illegible]な[illegible]といへる

つとも國民[illegible]が國民の[illegible]心に[illegible]うつたへてその[illegible]を[illegible]ねばならぬ[illegible]においては、[illegible]された[illegible]における[illegible]が[illegible]く、[illegible]の[illegible]による[illegible]の[illegible]方策を[illegible]として[illegible]く[illegible]ることは一[illegible]へねばならぬものがあらうとはいふまでもない、[illegible]に明年度[illegible]得る[illegible]であれば、なるべく[illegible]しかし[illegible]に多少とも[illegible]の[illegible]が[illegible]しく[illegible]としてゐる[illegible]的な[illegible]はさらに[illegible]してゆかねばならぬので[illegible]と貯蓄の[illegible]一的[illegible]については今後とも[illegible]究さるべきものがあらう

源泉課稅の擴充 今次增稅に[illegible]つては現行[illegible]の不[illegible]を[illegible]するため新しく[illegible]所得が[illegible]されることになつたが[illegible]力をその[illegible]において[illegible]する[illegible]の[illegible]はさらに[illegible]する必要がある、[illegible]ち[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]

の[illegible]にあることは、明年度國民所得が本年度に比し[illegible]を見込まれてゐることによつても[illegible]される、所得の大部分が國民の[illegible]心によつて[illegible]に[illegible]り向けられるとしても同じく[illegible]によつて[illegible]を[illegible]上げる[illegible]でも[illegible]に[illegible]力となつて[illegible]れる[illegible]においてこれを[illegible]することは[illegible]の上からいつて[illegible]しい、なほ今議會における[illegible]において家族、[illegible]等につき[illegible]人から[illegible]を[illegible]において[illegible]しては如何との[illegible]が出て[illegible]目されたが、これは[illegible]が[illegible]よりも[illegible]しく[illegible]し、[illegible]と[illegible]ふことを[illegible]するものがあらう

租稅制度再檢討の要 今次の[illegible]はその[illegible]が[illegible]の[illegible]によるにかかはらず[illegible]の引上げのみによつて[illegible]が行はれ、[illegible]については大きな[illegible]を加へてゐないのは一つの[illegible]とされる[illegible]である

いふまでもなく現行租稅制度は昭和十五年の中[illegible]、地方を通ずる[illegible]によつて生れたものであるがこの[illegible]以來既に四回に[illegible]つて增稅が行はれることになつた[illegible]ち十六年十二月に行はれた[illegible]稅を中心とする六億三千萬圓、十七年四月には直接稅中心の十一億五千萬圓、さらに昨年四月には間接稅中心の十一億四千萬圓が[illegible]されてゐるが、それに今次の[illegible]稅二十五億を[illegible]へれば[illegible]以來[illegible]に五十[illegible]億以上に上る增稅が[illegible]行されることになつたわけである、かくのごとく巨額の增稅が行はれるにもかかはらず[illegible]は主として[illegible]の引上げによつて行はれ、[illegible]によつて、[illegible]稅、[illegible]稅、[illegible]稅と新[illegible]稅及び[illegible]稅の四稅が設けられたに止まり[illegible]改正には手を觸れずして今日に至つた、ところが大東亞戰爭以來[illegible]の[illegible]に[illegible]つて[illegible]は著しい變化が生じて來てゐる、[illegible]も[illegible]、[illegible]により[illegible]は[illegible]するに[illegible]し國民[illegible]の決戰生活[illegible]の[illegible]に[illegible]り[illegible]所得は[illegible]中大衆的な[illegible]所得は急激に增加の傾向を示してゐるが、かくのごとき[illegible]下における國民所得の變化に[illegible]して[illegible]租稅[illegible]が平和時の[illegible]をそのまま[illegible]してゐるため[illegible]負擔に公平を[illegible]く[illegible]が見られる、一方[illegible]次にわたる[illegible]引上げによつて現行[illegible]の下においては、[illegible]の[illegible]が[illegible]められて來たことも[illegible]である、よつてこれらの[illegible]を[illegible]へれば現行[illegible]に[illegible]を加ふべき時期は既に[illegible]に[illegible]つてゐると云へるが、今次[illegible]における[illegible]增稅[illegible]委員會において[illegible]現行租稅制度を[illegible]するため[illegible]委員會を[illegible]に[illegible]する[illegible]見が出て[illegible]藏相も考慮すると言明したので近く稅制調査會[illegible]委員が具體化し[illegible]調査會に[illegible]されることが期待される

忠魂に誓ふ米英擊滅
木村大尉・島民の蹶起促す

[illegible]なる敵の砲爆下に在つて能く之を迎へ擊ち激戰八日、[illegible]なる大打擊を與へて遂にクエゼリン、ルオットの[illegible]を血で彩り[illegible]と戰つた山田、秋山兩指揮官以下の[illegible]海軍守備部隊玉碎の報は一億國民の[illegible]心を[illegible]が上にも昂めたのであつたが臺北在勤海軍武官府木村大尉は[illegible]玉碎の[illegible]報[illegible]へられた二十五日午後七時三十分より放送を行ひ六百五十萬本島同胞に[illegible]し[illegible]烈なる[illegible]局を直視し今こそ[illegible]民[illegible]げて[illegible]産に[illegible]し以て[illegible]力の[illegible]を[illegible]るべき秋であることを[illegible]く自覺せしめたのであつたその大要左の如し

本日の大本營[illegible]表は[illegible]の第一線である內南洋のクエゼリン、ルオット[illegible]等の守備に[illegible]つて居つた[illegible]國海軍部隊は[illegible]長[illegible]く敵の大[illegible]部隊の[illegible]なる砲爆擊の下に之と[illegible]を交へて[illegible]に大なる損害を與へ、ルオット[illegible]守備部隊指揮官山田道行海軍少將並びにクエゼリン島守備部隊指揮官秋山門造海軍少將以下將兵四千五百名及び[illegible]と協力[illegible]したる軍屬[illegible]二千名は全員[illegible]を[illegible]にし[illegible]なる突入[illegible]を[illegible]して[illegible]なる戰死を遂げた事を國民の前に告げたのである、[illegible]に音羽少佐は[illegible]の御出身であり[illegible]ら[illegible]に[illegible]はされた事は[illegible]に[illegible]の[illegible]至りであり、[illegible]死地に就いた[illegible]國の將兵の忠魂に心からなる[illegible]を一億國民と共に[illegible]したいと思ふのである

次にマーシャル地方の特殊なる地形を說明したる後一つ

の基地を取るに[illegible]は大なる[illegible]を[illegible]も顧みず[illegible]なる反擊を[illegible]けつつある[illegible]を忘れてはならない、[illegible]は[illegible]うして一つの[illegible]基地を[illegible]り得たが日本[illegible]の[illegible]は[illegible]だにもせないのである、[illegible]ち基地を[illegible]うして取つたのであるが此の基地は[illegible]力がなく動かないのであるに反して[illegible]船、[illegible]等は大きな[illegible]力があり此の[illegible]力を活用する所に[illegible]があるのであつて敵の[illegible]上[illegible]を[illegible]し、その海上[illegible]を我に於て[illegible]する[illegible]が[illegible]ち勝利である、敵が日本に近づくに連れ大損害を[illegible]るは[illegible]然の[illegible]であり[illegible]に[illegible]つて我が方に出て來れば必ずより大きな損害を受け海上[illegible]を喪失するは必然である

次に敵の[illegible]と比し我方の[illegible]は[illegible]に正確そのものである[illegible]し[illegible]も[illegible]大なる損害があつた[illegible]指摘し今こそ[illegible]れ、送れ、[illegible]ての此の[illegible]に全力を注いで增產に努めると共に此[illegible]の[illegible]には[illegible]も[illegible]なく何が何でもやり拔き最後の大きな明るい希望に[illegible]へて[illegible]しなければならない、東條首相が言はれた如く一億[illegible]に就く秋は今である、さうして[illegible]れ、送れ、擊て之を[illegible]的に實行しなければならないと思ふものである

必勝信念で勝拔け
竹內中佐・婦人の奮起促す

大日本婦人會臺北市支會では廿五日午後二時より市公會堂において軍報道部竹內中佐を招き時局講演會を開催した、竹內中佐は約二時間にわたり講演、婦人の奮起を促し[illegible]に多大の感銘を與へて午後四時閉會した

荻洲立兵中將迎へ時局演講會
けふ公會堂で

[illegible]を[illegible]る一月七日來[illegible]、[illegible]四十日間に[illegible]る南方視察を終へて二十四日[illegible]した荻洲立兵中將の時局講演會を[illegible]北[illegible]分會主催で二十六日午後七時から臺北市公會堂で開催するが市民多數の來聽を歡迎すると

作れ・送れ・擊て

◇…ガ…ガ…ガ…の騷音と共に今日の大和、明日の戰力をつくる黑ダイヤの[illegible]が一塊が、また一塊がバラバラと足もとに崩れてくる、鑿岩機は[illegible]に[illegible]し、炭層に向つてあたかも皇軍將兵の突擊の如くジリジリと突き進んで行く、またこの重い鑿岩機を持つて炭層に挑む戰士の額からまた鼻からタラリ、タラリと汗が流れてくる、坑內の温度は攝氏四十度以上だ、噂によれば四十度を突破する處もあるのだ、この高温度の中で息苦しき空氣の中にひたすら、御國の勝利の爲

一發一發を捧げて敢鬪する鑛山戰士の中には[illegible]にも似た[illegible]き光が[illegible]れてゐるやうだ

◇…ガ…ガ…ガ…夜もなくまた日曜もない、ただ一塊でも多く、ただ一塊でも多く、掘り出される黑ダイヤは黃金にも增して今の戰ふ日本には絕對必要なのだ、我等銃後の國民もこの暗黑の坑內の中、黑き鑿岩機をもつて黑ダイヤに挑む鑛山戰士に負けるものないやう各自の持場職場で勝つために突き進まう、勝利の日まで……必ず、必ず

警察事務强化協議

【新竹電話】[illegible]新竹州警務部では[illegible]る二十三日州下[illegible]警察課長會議を開き、決戰下[illegible]の强化につき[illegible]議をなしたが[illegible]の取締り强化[illegible]として[illegible]火管制下に於ける治安の確保[illegible]に風紀取締りには內[illegible]を[illegible]夜間[illegible]を[illegible]させることに決定した

放送部長に富田氏

[illegible]放送協會では[illegible]は、今[illegible]部長の[illegible]二郎氏が[illegible]を[illegible]ぜられ、[illegible]部長の[illegible]任には[illegible]北州[illegible]部長を[illegible]した富田[illegible]氏が就任した

銅像の代替に
工藝セメント像
銅像を工藝セメント像に複寫してから供出しませう
胸像、立像
戰歿者像
頌德像
製作、鑄造
（文部省推薦）
大阪府代用品協會々員
梶本庭園工務所
大阪市東住吉區山坂町三
電話天王寺1888

株式名義書換停止
[illegible]三月一日ヨリ同月十一日迄[illegible]株式ノ名義書換ヲ停止[illegible]
昭和十九年二月廿五日
臺北州自動車運輸株式會社

國際館　29日マデ
[illegible]
文化時局[illegible]
本日ハ一時ヨリ三回

今日の映畫
大世界　1日マデ
台劇　3日マデ
新世界　1日マデ
芳乃館　28日マデ
芳明館　26日マデ
城南映劇　26日マデ
萬華劇場　29日マデ　明春劇團
第三世界　27日マデ
太平館　1日マデ
基隆・暻陽地區
中央劇場　29日マデ
基隆世界　29日マデ
旭劇場　28日マデ
大和劇場　27日マデ
羅東座　4日マデ　勝美劇團
宜蘭座　28日マデ
昇平座　1日マデ　永樂劇團
基隆劇場　29日マデ
新竹の映畫
新竹劇場　4日マデ
有樂館　27日マデ

臺北州合同興業會社

會葬御禮
河西福貴
親族一同

第二回戰時特別定期預金割增金當選番號廣告
特等　壹萬圓　壹本　ぬ組第八〇〇三號
壹等　壹千圓　五本　い組、ろ組、は組、と組、り組ノ第五一五〇號
貳等　壹百圓　五拾本　各組共通第五〇八號、第一〇八九號、第五九九〇號、第八〇七四號、第九四八五號
參等　拾圓　參千本　各組共通、抽籤番號ノ千位以上ニ關係ナク百位以下ガ左記ニ該當スルモノ（例之〇一〇ハ各組〇一〇、一〇一〇、二〇一〇）
〇一〇　一二九　一六〇　二〇三　二一一　二三七　二八四　二九〇
三二四　三三八　三九〇　四〇〇　四二二　四三九　四八四　五四一
六六八　六七五　六九三　七一一　七六九　八〇〇　八四九　八九六
（以下之ニ準ズ）
割增金ハ三月十日ヨリ當選番號定期預金證書發行店ニ於テ御支拂可申候
臺灣金融協議會

第一期營業報告
昭和十八年十二月三十一日現在
[illegible]
建成質舖

二月二十六日ヨリ特別行爲稅法ノ改正ニ依リ現行百分ノ三十ヨリ百分ノ五十ヘ引上ゲト成リマシタ
課稅ハ引渡日ヲ以テ適用サレマスノデ御寫眞ノ未渡分ハ二割ノ追徵ヲサレルコトトナリ
時局柄納稅報國ノタメ右御諒承ヲ願ヒマス
二月二十五日
全臺灣寫眞業聯盟

昭和十九年二月三日付臺北州指令第四三四號ヲ以テ臺北州臺灣物產査定會結成ヲ許可セラレ役員査定委員ノ承認ヲ受ケタリ
依而爾後左記物品ニ對シ公定價格、協定價格ニ規定サレタル品質、規格ノ查定ヲ實施ス
該當物品ハ賣買、製造加工ノ委託ト否トヲ不問取扱者ヨリ洩無ク查定申請ノ手續ヲナシ查定ヲ受ケラレ度、查定會規則及查定申請手續等ハ本會事務所ニ就キ承知サレ度シ
定時查定日時、每週水曜日午前十時開始
昭和十九年二月二十六日
臺北市[illegible]町[illegible]番地
臺北州臺灣物產查定會
左記 查定物品部類別
第一部　[illegible]
第二部　[illegible]
第三部　木工藝品、[illegible]
第四部　[illegible]

婦人社員募集
一、女子事務員 高等女學校卒業者
一、婦人編輯員
申込期日 昭和十九年三月五日迄
[illegible]
臺北市[illegible]町二ノ十五
臺灣三省堂

外科　泌尿器科　放射線科
福島外科醫院
基隆市玉田町二ノ三
電話六〇一番
福島勇
【入院隨意】

故內藤正男殿　故張傑榮殿
故蘇阿茂殿　故王新進殿
故黎傳鳳殿　故賴有桂殿
故ブ一ル殿　故張塗枝殿
故稻澤榮家殿　故蕭椿桐殿
故黎名土殿　故張傳樹殿
故顏水郎殿　故鄭錦祥殿
故伊田佐生殿　故王龍桂殿
故林阿南殿　故林傳黃殿
故余清泉殿　故吳添火殿
故鄭源生殿　故黃春萬殿
故詹澄長殿　故長澤和義殿
來ル二月二十九日午前十時東本願寺臺北別院ニ於テ前記殉職船員諸士ノ公葬ヲ執行シ併セテ戰殁軍傭船員ノ慰靈法要ヲ營ミ可申候間一般ノ御參列ヲ得度此段謹告候
[illegible]
殉職船員公葬委員長　交通局總長　副見喬雄

一ケ月に十八萬餘圓
高雄海軍省經理部へ赤誠獻金の巨濤

【高雄電話】忠誠の熱血を滾らせつゝ大東亞戰の完勝に邁進する六百五十萬島民の無敵海軍へ寄せる感謝と信頼は、米英擊滅の闘志と共に愈々昂まり、其の赤誠の一端は海軍國防獻金並に恤兵金に力強く現はれて居るが、去る一月一日より同三十一日迄高雄海軍省經理部に寄託した國防獻金は [illegible]

全幅の協力を要望
新年度貯蓄戰へと轉進

【新竹】昭和十八年度に於ける四億貯蓄完遂の目標もここに餘すところ一ケ月餘となつたが、新竹州ではその割當額四千二百四十萬圓に對し官民一致强力なる貯蓄獎勵運動を起した結果昨年十二月末日現在の成績を見るに組合貯蓄と一般貯蓄を併せて九一%六一となり、これが所期目標額突破に邁進せしむべく三月早々から最後の貯蓄突破運動を華々しく展開することとなつた、尚昭和十九年度の貯蓄目標額もこの程督府から示達されたがその總額は四千八百 [illegible]

宜蘭水害豫防組合評議會

【宜蘭】[illegible]

耕地の集約增進へ
二百八十甲に海岸防風林

[illegible]

志願三百血書五名
看護助手へ十五名合格

[illegible]

林邊庄協議會

[illegible]

水田裏作利用蔬菜競作品評會

[illegible]

地租早期完納

[illegible]

蔗園千五百甲減退
米、甘藷の增産に切替へ

[illegible]

學校組合會

[illegible]

東港水利組合評議會

[illegible]

結婚費の節約や利益を獻金

[illegible]

赤誠の獻金品
軍司令部（一月自二日至四日）

國防獻金 [illegible]

恤兵金 [illegible]

敵の毒牙は身近だ
殉國の決意に張切る
女子補導所の生徒ら

【高雄】[illegible]

軍事知識
戰鬪力の中心火器（三）
騎砲、野戰輕榴彈砲など

騎砲　[illegible]

山砲　[illegible]

野戰砲　[illegible]

野戰輕榴彈砲　[illegible]

萬雷の拍手飛機獻納
感激に終始した嘉義市會

【嘉義電話】[illegible]

後期地租早期完納
市としてはこれが最初

[illegible]

火災罹災者に衣類の寄贈

【北斗】[illegible]

打寄す小麥の穗波
甲當三千斤、來年は五百甲

[illegible]

興亞勤行青年隊第三期隊員入所式

[illegible]

保正鍊成會終る

【新竹電話】[illegible]

農漁村産業戰士へ暖い贈りもの

[illegible]

特別勞務奉公隊家族慰問
產業奉公會で懇談激勵

[illegible]

增產戰へ蹶足の少年工
全智全能を擊滅へ
新竹州立工員錬成所を見る

【新竹】[illegible]

所舍　[illegible]

中堅　[illegible]

時局　[illegible]

教官　[illegible]

錬成　[illegible]

綳帶　[illegible]

葬儀　[illegible]

州下　[illegible]

ラジオ

第二放送

◇七・〇〇　體操（臺北）　◇九・〇〇　時報　◇九・四五　戰時保育所の時間、ウミワシニイサン　◇一一・〇〇　國民學校放送 [illegible]

第三放送

◇六・〇〇　少國民の時間 [illegible]

產時衰弱
不足したビタミンBを大量補給して恢復
ともかわ

學徒の熱血が躍動する！
文部省推薦
若き姿
3月2日より
大世界館封切

齒科　平川醫院

健民住宅
臺灣住宅營團

臺日案内

夕刊
臺灣日日新報

神助の豪雨肉彈突撃
鬼畜米軍微塵に粉碎
トロキナ岬 福田部隊奮戰記

【ブーゲンビル島前線○○にて鷲川報道班員發】

故國の山河を想ふ

明滅する光の前進

神明の加護

六千五百の英魂に續け
吾等は陛下の一兵
總てを捧げ勝拔け
後藤副總裁談

英狄、米夷の非望撃碎
岡田議長 戰勝の決意を語る

勅使御差遣
光榮の音羽侯爵

東條參謀總長、嶋田軍令部總長明治神宮參拜（電送）

宮城縣知事に丸山氏
中央地方の人事刷新

丸山 鶴吉

日本を倒す事不可能
チールケ博士の論説

荷役機械を動員
石炭輸送關係港の能力増強へ

必勝へ一路總力發揮
『決戰非常措置要綱』の意義

△要綱

駐日佛大使更迭
後任はコスム氏

年産九萬臺に減産
米の航空機生産管理狀況

航空機生産監督局

計畫から完成まで

その他の重要業務

材料節約

特別計畫部

生産管理部

東西時事
米國の對芬蘭工作

又復倫敦を大空襲
破壞家屋は八萬戸

五百六機を撃墜
獨空軍五日間の戰果

英空軍省公報

米機九十三撃墜さる

米空軍和蘭を盲爆

ソ聯に抗議か
瑞典爆撃問題

襲獨機百六十喪失

東部戰線戰況

米英數個聯隊全滅
ネツツノ殘敵掃蕩終る

獨軍占領地域を擴大强化

亞大統領辭職
後任にファーレル將軍

亞海相も辭職

三井物産を三井本社と變更
臨時總會開催

株式配當金の支拂方法改善

米の增税法案成立

人事

スルフォンアミド劑
靜脈注射液の嚆矢!!
ポンジール
錠劑用 靜脈注射
合資會社 藤澤友吉商店

南海血に染む同胞
その英靈弔ふ獻金
武官府へ　軍司令部へ

二十五日夕刻ラジオで發表せられたクエゼリン、ルオット兩島守備の陸海軍將士及び軍屬全員の壯烈なる戰死……[illegible]

[illegible]

"南へ征く愛國機"
新竹州民赤誠の資金獻納
軍司令部、海軍武官府へ

[illegible]

"死所を得て本望"
故笠松陸軍少尉の從姉談

[illegible]

南方第一線で散華
吉田一等兵の夫人語る

吉田一等兵（臺北市……）は……南方第一線に出征し、この度名譽の戰死を遂げたものであるが……[illegible]

仇敵米英討つために
私の一切を抛うて！
岡田衆議院議長國民を激勵

【東京電】南海の環礁を血に染めて同胞六千五百名全員戰死す、この……[illegible]

學校閉鎖はやらぬ
學徒動員徹底化の要領

【東京電】政府は今回の決戰非常措置の一環として「學徒動員の徹底」を決定したが……[illegible]

島都決戰市會開く
英靈敬弔 必勝總蹶起決議

決戰第三年目の昭和十九年度豫算を審議する臺北市會は……二十六日午前九時十五分から開會……[illegible]

質疑應答
午前の分

[illegible]

必勝決議

[illegible]

昭和十九年二月二十六日

臺北市會

英靈敬弔

昭和十九年二月二十六日

[illegible]

全面的總進軍へ
島都の面目發揮
市長の豫算編成方針説明

本日玆に市會を招集し昭和十九年度……[illegible]

從て [illegible]

下部組織の整備強化 [illegible]

學校教育の振興と青年の錬成 [illegible]

食糧問題空地利用等
内田農商相に聽く具體的實施の方向

【東京電】……[illegible]

大都市の食糧配給の改善 [illegible]

少年等に對する措置 [illegible]

芋類の乾燥等食糧の確保 [illegible]

空地利用の徹底 [illegible]

歡喜力行で勝拔け
皇奉・支部主務者打合會

[illegible]

臺灣農業會設立委員長外委員を任命

[illegible]

樟樹二萬植樹
花蓮港廳男女學徒奉公隊員

【花蓮港電話】[illegible]

石炭の增產に期待
福岡縣知事の福岡鑛山監督局長兼務の意義

【福岡特電】[illegible]

軍事援護事業の充實 [illegible]

食糧增產と配給對策 [illegible]

企業整備促進ト勞務對策 [illegible]

防衞施設の擴充强化 [illegible]

乘合自動車事業 [illegible]

大阪理工科大學 豫科生徒募集

○定員　一六〇名

○試驗期日　三月十四日　願書締切　三月二十日

○試驗科目　國史、作文、數學、物理化學

○試驗場　布施市　本校（大阪市外）

○詳細ハ四錢切手封入照會ノコト

布施市長瀨（大阪市外）電話　一四〇、一九〇、二五番

山地に落花生栽培
青年の榮養補給確保

【新竹電話】[illegible]

一、[illegible]

二、十九年度自力水田造成箇所に關する件

三、水稻增產に關する件

四、落花生栽培獎勵に關する件

五、[illegible]

六、玉咲つづら[illegible]

七、自給肥料獎勵に關する件

八、[illegible]

九、その他

米英擊滅青年辯論大會

この決戰第三年目、[illegible]

齋藤皇奉本部長臨場
決戰女性歡迎壯行會
あす臺北市公會堂で開く

[illegible]

△[illegible]

臺北陸軍病院で陸軍看護婦募集

[illegible]

△採用人員　若干名

△資格

1、日赤に於て救護看護婦の課程を了へた者

2、看護婦免狀を有する者

3、年齡十八歲以上三十歲まで、身體特に强健なる者

△待遇　[illegible]

△滿　[illegible]

臺北師範に教育研究所
あす・開所式を擧行

[illegible]

日の丸辨當で節約獻金のヨイコ

[illegible]

鎧袖一觸
(87)
村松梢風作　中一彌畫

[illegible]

頑症の痔と皮膚病

[illegible]

外用　カミツクス

[illegible]

藥店に急告！

買藥一流品を時節柄充分に御仕入れ下さい

先んずれば勝利、今なら在庫品豐富買藥製造業者整備後の販賣品を充分に確保されたし

[illegible]

買藥卸問屋　岡本全快堂本店